タウン タウン 小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

認定 NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良 1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 18

ひと彩々

熊谷のオリーブ園と障がい者就労支援 ソーシャルファーム「クラリスファーム」

埼玉福興株式会社
代表取締役
新井（あらい） 利昌（としまさ）さん

昭和49年生まれ。平成５年、社会福祉法人として『年代寮』開設。平成８年に埼玉福興株式会社設立。平成16年、農業の世界に障がい者の社会的自立への活路を見いだす。現在、ソーシャルファーム経営者としても、オリーブオイルの業界からも注目される存在となっている。

●熊谷に根ざすオリーブ畑

利根川土手に上り妻沼ゴルフ場の西端辺りで南を見下ろすと、そこに優しいグリーンの葉が爽やかにそよぐオリーブ園が。熊谷市とオリーブ、従来の感覚では結び付け難いように思われるが、オリーブ栽培には気温40度からマイナス10度の間で、適度に風が吹く地が望ましいという。熊谷はこの条件にちょうど当てはまる。

オリーブ園を管理するのは埼玉福興株式会社の代表取締役・新井利昌さん。弥藤吾地区に社を構え、併設の障がい者生活ホーム「年代寮」で暮らす人達と共に、オリーブ・野菜・花を栽培するクラリスファームを切り盛りする。

新井さんのご両親は縫製業を営んでいたが、平成5年に福祉事業に転換、新井さんとお父上の2人で年代寮を立ち上げる。まずは自宅を改造して、若干名の知的障がい者と同居生活を送ることから始まったが、現在では寮に約30名もの利用者が住まう大所帯に発展。大家族のように寄り添って生活し、共に働く。年齢は18歳から72歳まで幅広く、障がいの種類や度合いも様々。彼らの生活は基本的に2人1組。寮母も配置されてはいるが、身の回りのことは互いに補い合いつつ殆ど自分たちでこなせる。業務の取りまとめや研究開発等を担う職員は、障がい者2名を含めた10人。寮生・職員が揃って片道約2㎞の農園まで歩いていく毎日、農業を始めてから、みな以前よりも生き生きとして病気にもならないという。

●障がい者を農園の貴重な戦力に

同社の取り組みは、障がい者に対し単純にその場しのぎの生活支援を施すことに留まらない。生活と就労を両立、そして労働力の主力となって働いてもらうことにより、自立した一人の社会人として充実した楽しい生涯を送れるようバックアップする。

福祉事業としてスタートした当初は、大手メーカーの製造下請け業務を担っていたが、製造業に海外進出の大きな波が訪れ、単純作業の類はどんどん中国などに流れて行った。一方でこれからの時代、法人として一般の企業と同等レベルの競争力を持たないと結局は淘汰されてしまうと思われた。社会福祉の枠の中で生きるのではなく、業務システムの中に福祉を上手く組み込んで機能・発展させ、就労支援と皆の充実した生活に繋げる手段がないものか。

そこで注目したのが農業の分野。食べ物であれば、いつの時代でも需要があり仕事はなくならないだろう。農業生産には膨大な作業が伴うが、障がい者にも可能な黙々と行える単純作業も多い。皆で緑豊かな農園を回しながら、お金を使わないスローライフを送ることを決意し、平成16年に思い切って農業へとシフト。障がい者を各々の得意分野に合わせて配置し、農業生産法人として持続可能な形に成長させる道を模索する。

●オリーブとの出会い

農業を志すとして、何に主力を置くか。近隣に無く他と差別化が図れるものとして、オリーブが閃いた。肥料不要で自然栽培ができる手間がかからない。またオリーブは実も葉も様々な形で我々の生活に役立つ。思い描くスローライフのイメージにもぴったり。小豆島を訪れ、オリーブ生産者として名高い井上誠耕園からオリーブの苗300本を譲り受けてオリーブ畑をつくる。並行して野菜も生産しつつ、10年かかって木は生長し、収穫した実から上質のオリーブオイルを搾油するところまで漕ぎつけた。オイルは国際的なコンテストで金賞を受賞、また葉を粉末化したものはお茶やお菓子等の食品にも使われている。「これからオリーブを特産品に成長させ、オリーブ園もいずれは観光コースのひとつになれば。」300本から始まったオリーブの木は全国にコツコツと植樹が進められ、新井さんの挑戦は続く。（N・T）

麦笛

日向美津江

「人を目標にした経営理念」

◆トランプアメリカ大統領の就任以来、朝刊テレビを見なかった人たちも、今日は世の中が如何なっているのかニュースが気になる。トランプアメリカ大統領から次々に出される「大統領令」はアメリカの立法府である議会を通さず直接発令される行政命令であり、発令されるとすれば戦争とか緊急時ではないかという印象が強い。これが多発されている。大統領令第1号は「奴隷解放令」であった。緊張感とともにニュースを追う。

◆企業の目的は利益の追求であり、大実業家で成功を収めたトランプ氏が今度はアメリカ大統領として「アメリカファースト」と行政の分野で方針遂行する。大統領令を通してアメリカ大統領の権限の強さを見ていたが無制限ではなかった。連邦裁判所がニュースに登場してきた。

◆多様化する価値観は企業経営の目標とすることが人に向かわざるを得ない今がある様に思う。NPO法人の「共助」の活動理念の目標は人にある。ここが企業とNPO法人の違いだとあったが、垣根は低くなり融合された経営理念が生まれてくる事と考えられる。NPO法人の活動報告書は一般企業に当たる利益活動部門とNPO活動の非利益活動部門の2部門からなっている。認定NPO法人を取得することにより、税制の優遇措置も受けられる。活動の目的が人と人との関わり合いに「共助」の形で還元してゆく事にある。この活動領域の広がりが企業経営と、どの様に融合してゆくか行政、税政と共に人を目標にした経営理念の構築を願う。

◆トランプ大統領は1946年6月生まれ70歳である。熊谷商工会議所の方から「日向さんはトランプ大統領と同じ年の同じ月に生まれているね」と言われた。「そうか」とお腹に重いものを感じた。どうか世界が「共助」、人を目標にした経営理念に向けて動かして欲しい。

小麦の会 活動報告

10/30(日) 第10回こうなん祭り 熊谷市江南文化会館ビビア駐車場

市内のイベントが多数重なった日で、寂しい会場になるのではと心配しましたが、多くのお客様がご来場くださいました。手違いで午後から販売になったソフトクリームも、風もなく穏やかな日だったため、まずまずの売れ行きでした。。こうなん祭りお絵染みの山車や、初登場の子ども歌舞伎もあり、楽しいイベントでした。(R)

10/30(日) 奈良festa 熊谷市立奈良小学校

小麦の会の事務局が置かれている中奈良、亀元の行事です。「おやじの会」が主催で繰り広げられます。今年は小麦の会はソフトクリームをアイテムに加えて出店致しました。奈良小学校のグランドに設営されたステージでは、終日、ご自慢の演目が繰り広げられました。(H)

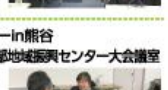
11/19・20(土・日) 熊谷市産業祭 熊谷スポーツ文化公園

朝から小雨が降っていたので心配でしたが、オープン時には雨も上がり一安心。産業祭のメイン商品はふりふりきな粉パンです。お買い上げいただいた時点でたっぷりのきな粉をふりかけてとっても美味しいパンで好評でした。たくさんのお客様に皆パワー全開で頑張りました。忙しくも楽しい一日でした。(O)

11/26(土) 熊谷商業高校販売実習 熊谷駅コンコース

熊谷商業高校の生徒さん達が、くまがや小麦の会製品の他、熊谷市の名産品を販売。準備から接客販売も元気いっぱいで、とても活気のある実習でした。卒業生のお客様も沢山お立ち寄りくださり、熊商オリジナルカレーパンは、あっという間に完売しました。熊商の皆さん、ありがとうございました。(R)

11/28(月) 北部・秩父地域NPO法人実務研修会 北部地域振興センター主催於：はにぽんプラザ



NPO法人、市民団体の方13団体21名のご出席の中、小麦の会10周年記念誌「認定NPOへの道程」を皆様に配布ご説明の機会を頂き、行ってまいりました。皆様にお話をさせて頂き、認定への方向性をお考えいただく良い機会を得ました。(H)

11/30(水) 地域で活かす私の力 地域デビューin熊谷 "NPOでボランティアを始めませんか"埼玉県北部地域振興センター大会議室

小麦の会10周年記念誌「認定ＮＰＯへの道程」を皆様参加のＮＰＯ法人の皆様に配布ご説明の機会を頂き、行ってまいりました。15団体の方々に小麦の会が認定を取得に至った道程を記念誌をテキストにお話しいたしました。個別のご質問にもお答えし、皆様に認定の取得をお勧めいたしました。(H)

12/18(日)第8回ベアリス30km in熊谷・立正大学

立正大学熊谷キャンパスで第8回ベアリス30km in熊谷・立正大が700名の参加で行われた。齊藤 昇 立正大学学長のピストルの合図でスタートして、5kmコースを6周する30km大会である。くまがや小麦の会の出店は今回で4回目である。学生食堂での出店で選手や応援の家族にも好評であった。

12/23(金・祝) 雀幸園クリスマス会

昨年の12月23日に行われた雀幸園クリスマス会にて、小麦の会の友清さんと園児達でミニコンサートを披露いたしました。また、キャンドルサービスではピアノ演奏と歌声の夢幻的共演で雰囲気を彩ってくださいました。本当にありがとうございました。会長さんや会員の方から贈り物を頂き、楽しい心に残るクリスマス会が出来ました。(A)

1/1(元日) くまサブレをお供物に　久保島大神社

今年は、とても穏やかで温かな初詣でした。今年も、久保島大神社では、初詣に供物の「くまサブレ」を無料配布致しました。採用から7年目になります。初詣客は、年々増加し、今年も900人余りでした。久保島地区は、小麦の産地でも有り、これを原料として作られたサブレに、子供達も興味を示し、多くのファンがおります。
(久保島大神社　総代長　森田清和)

本庄宿の再発見　北部地域振興センター本庄事務所 発行

本庄宿は江戸時代中山道最大規模の宿場でした。
今でも、昔ながらの商家や蔵など往時の面影を残す風景に出会えます。本誌はこれらの地域資源を再認識してもらうとともに、今の中山道を後世に伝えるために作成しました。グルメスポットや隠れたエピソードも掲載しています。
中山道を探訪する際のガイドとしてご活用ください。
所長　石川　勉

あの町この店

パンの店
コッペリア
代表 加藤弘之さん
〒360-0041 熊谷市宮町２－140－３
電　話　048-527-0180
営業時間　10時～18時（水曜日は15時迄）
定 休 日　日曜日・祝日

コッペリアという名のパン屋さんと聞くと、コッペパンを想起してしまいますが、店名の由来はバレエの「コッペリア」。お父上の代に和菓子店を営んでいた頃、親しい常連客の娘さんがバレエを習っていたことに因み、ベーカリーを始める際にこの名を付けたそう。またカステラ生地に羊羹を挟んだ人気商品・シベリアは、お母上から「昔こんなパンが流行ったのよ」と伝え聞いたのが始まり。そんな歴史を持つ店の店主・加藤さんは、和菓子の世界で培った技術と地産の安全な食材への思いを大事に、朝5時台からパンを焼き続けています。

市役所南の現在の店は平成7年オープン。懐かしい雰囲気のパンが約50種並び、淹れたてのコーヒーとともに店内でいただく事もできます。数年前より生地には埼玉県産の小麦を使用、コシとふっくら感を兼ね備えた美味しいパンに仕立てるまでには試行錯誤を重ねてきたといいます。

無添加の身体に良い食材を心掛け、マーガリンはトランス脂肪酸の少ないものを選び、あんこは自店の製あん機で炊く自家製。つぶあん・こしあん・シベリアの羊羹の使い分けは、もと和菓子職人ならではのこだわり。調理パンもおすすめで、毎朝ジャガイモを茹でるところから始めるポテトサラダ、フワフワでしっかり黄身の味がするたまごペーストなどにも手作りの温みが溢れています。流行りすたりに左右されない安定した品質のパンは、こうした手間を惜しまぬ姿勢から生まれる味です。（N・T）

小麦の会のサブレも取り扱い頂いております

イベント出店予定

3月
2日(木)　地粉で作る蕎まんじゅう講習会 平松研究室 参加費 1,000円10:00より
参加ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。会員外の方も歓迎です。
19日(日)　第27回熊谷さくらマラソン大会 熊谷さくら運動公園陸上競技場
31日(金)～4月9日(日)　第18回全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会 熊谷スポーツ文化公園ラグビー場

4月
29日(土)　第11回友山まつり　櫻岸家長屋門

5月
27日(土)　認定NPO法人くまがや小麦の会第11回定例総会　菊亭
28日(日)　第7回熊谷B級グルメ大会　熊谷スポーツ文化公園

6月
3日(土)　第9回こうなんホタル祭り　江南総合文化会館ビビア駐車場

■ 会員募集
賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み：TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

次号のお届けは2017年6月の予定です。
編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900